



2021年6月25日

各 位

会 社 名 サイバネットシステム株式会社
 代表者名 代表取締役 安 江 令 子
 (コード番号 4312 東証第一部)
 問合せ先 取締役 木 元 覚
 (TEL. 03-5297-3066)

**主要取引先との販売代理店契約の終了、通期業績予想、
 配当予想の修正並びに2022年12月期以降の業績への影響に関するお知らせ**

当社は、主要取引先であるSynopsys, Inc. (以下、本書においては「Synopsys社」と表記) との日本における販売代理店契約を、2021年10月1日を以って終了することとなりました。これに伴い、本日開催の取締役会において、2021年2月10日に公表いたしました2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の業績予想及び1株当たり配当予想を修正することにいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 販売代理店契約終了に至った経緯

当社は、1985年以来、Synopsys社と光学設計解析ソフトウェアの日本における販売代理店契約を継続してまいりましたが、Synopsys社からの申し入れがあり、Synopsys社との協議の結果、2021年10月1日を以って販売代理店契約を終了することとなりました。これに伴い、当社はSynopsys社に業務を移管いたします。

当社は日本に加え、中国、台湾、アセアン、韓国においても販売代理店契約を締結しております。日本以外の全ての国における販売代理店契約についても終了する予定です。

2. 取引先の概要

(1) 名 称	Synopsys, Inc.	
(2) 所 在 地	米国	
(3) 事 業 内 容	ASIC/システムLSI/メモリー/イメージセンサー等、半導体設計用ソフトウェアおよびIPの開発、販売	
(4) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	同社製品の仕入及び販売。
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。

3. 取引の内容

取引の種類	売上高 (※) (2020年12月期)	連結売上高に占める割合 (2020年12月期)
同社製品及び関連するハードウェア等の販売	4,657百万円	21.5%

※ 当社グループのSynopsys社製品及び付随するハードウェア等の売上高（日本、中国、台湾、韓国、アセアンを含む）

4. 通期業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,400	2,700	2,670	1,680	53.88
今回修正予想 (B)	22,056	2,472	2,462	1,536	49.27
増減額 (B - A)	△344	△228	△208	△144	
増減率 (%)	△1.5	△8.4	△7.8	△8.6	
(参考) 前期連結実績 (2020年12月期)	21,665	2,877	2,840	1,561	50.09

(2) 修正の理由

売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、Synopsys社との販売代理店契約を2021年9月末に終了することから、計画を下回る見通しとなっております。

以上の状況により、通期業績予想を修正いたします。

5. 1株当たり配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想	13円47銭	13円47銭	26円94銭
今回修正予想	12円32銭	12円32銭	24円64銭
当期実績			
前期実績 (2020年12月期)	10円43銭	14円62銭	25円05銭

(2) 配当予想修正の理由

当社は、配当につきましては、配当性向(※1) 50%または純資産(株主資本) 配当率(※2) 3.0%のうち、いずれか高い方を配当金額決定の参考指標とし、あわせて今後の企業価値向上に向けての中長期的な投資額を勘案した上で、総合的な判断により決定することとしております。

この方針に基づき、今回の連結業績予想の修正を踏まえて、当期の期末配当予想を直近の配当1株当たり 26 円 94 銭から 1 株当たり 24 円 64 銭に修正いたします。

(※1) 配当性向 = (中間配当金 + 期末配当金) ÷ 1 株当たり当期純利益

(※2) 純資産(株主資本) 配当率 = (中間配当金+期末配当金) ÷ ((期首1株当たり純資産 + 期末1株当たり純資産) ÷ 2)

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

6. 2022年12月期以降の業績への影響について

当社グループの売上高に対する Synopsys 社製品及び付随するハードウェア等売上高(日本、中国、台湾、韓国、アセアンを含む)が占める割合は、約 21%(2020 年 12 月期連結実績)になります。

当社は、これまで 30 年以上にわたり蓄積したノウハウと技術力を活かし、CAE ソリューション事業では、コアビジネスの拡大、DX 事業の拡大、シミュレーション活用領域の拡大、IT ソリューション事業では、クラウド・セキュリティ事業の拡大等により業績回復に努めてまいります。

また、光学 CAE 分野においては、35 年以上にわたり培った経験と技術を活用し、引き続き、お客様にサービスを提供してまいります。

2022 年 12 月期以降の計画については、2021 年 12 月期通期の決算発表時に改めて今後の方向性についてお知らせいたします。

以 上